研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-141		17-320	慶應義塾大学　加藤眞三

題名（原題／訳）

Nutritional Status During Inpatient Alcohol Detoxification.
アルコール解毒のために入院した患者の栄養状態

執筆者

Gautron MA, Questel F, Lejoyeux M, Bellivier F, Vorspan F.

掲載誌

Alcohol Alcohol 2018 Jan 1;53(1):64-70. doi: 10.1093/alcalc/agx086.

キーワード	PMID:
認知症、　栄養状態　ビタミン　チアミン	29136089

要　旨

目的：
チアミンの低いことがアルコール関連認知障害に関係すると考えられるため、我々はアルコール解毒のために入院するアルコール使用障害（AUD）患者の栄養状態を評価し、ビタミン血中濃度が認知障害を検出する代用になるかを調査する。
方法：
我々は、専門的中毒内科部門でアルコール解毒のために入院する 94 人の連続した患者の医療記録を後向きにカルテの再検討を行った。栄養状態は Body Mass Index（BMI）で評価された。ビタミン血中濃度は 80 例の患者で測定されていたがチアミンに利用できたのは 52 例の患者だけであった。入院第 10 日目に Montreal Cognitive Assessment（MoCA）スコアが認知障害を検査するのに用いられ、59 例の患者で利用できた。バイナリのロジスティック回帰は、閾値（26 ポイント）以下で MoCA スコアと関連した因子を特定するために実行された。
結果：
平均 BMI は 23.28 +/- 3.78kg/m2 であり、体重を測定された患者の 8.79%は栄養失調症と判断された。平均 MoCA スコアは 22.75 +/- 4.88 ポイントであり、検査を行われた患者の 66%は認知障害が疑わしい閾値以下にいた。血液中チアミン・レベルが低い患者は見つからなかった。多変量解析では、BMI は病 MoCA スクリーニングテストと有意に関係していたが、ビタミンの血液中濃度とは関係しなかった。
結論：
臨床検査は、認知障害の危険がある栄養不良の AUD 患者を決定する生物マーカーより感度が高い。AUD を有する栄養不良の患者は、完全な神経心理学試験を受けなければならない。